

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス のぞみ上甲子園		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 9日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちにとっての居場所作り 家庭(学校)以外の場所で安心して過ごせる、 一人ひとりが自分らしくいられる、 色んな人と出逢える(繋がれる)場を提供している	・入室、退室時の出迎え、見送り、挨拶 ・健康チェック(その日の体調や気分を把握する為) ・自由時間の確保(短い時間であっても、個々のペースで 過ごせる時間を設けている) ・空間の棲み分け(プレイルーム、休憩や学習スペース等)	・安心、安全な見守りが可能な人員配置 ・個々の特性理解を深める ・自由度のあるスケジュール設定、時間管理
2	・自立に向けた支援(社会性を身につける) 人との距離感やコミュニケーション向上へのアプローチ、 お金の使い方(買い物、金額の計算など)を練習する機会、 自己選択や意志決定の機会を設けている	・集団活動(遊び、当番)を通して他者と関わる機会 ・当番活動を通して、役割意識と責任感の定着を図る ・買い物体験を通して計算力の向上、金銭感覚の形成 ・失敗(成功)体験から、新たな気づきを得る	・買い物時に利用する店舗が固定化されているので、市内 外問わず新境地の開拓を目指す ・様々な場面を想定したSSTを活発に取り組んでいく
3	・様々な経験や体験(野外活動、余暇イベントなど) 移動時や外出先でのマナー(ルール)を学ぶ機会、 季節や行事(イベント等)を身近に感じる機会、 刺激的な経験(体験)の中で、感情面へのアプローチ	・交通ルールを学び、安全確認や身を守る為の意識づけ ・四季折々に応じた行事(イベント)の実施、外出先が偏ら ないよう配慮している ・自己理解を深める(好き嫌い、欲)を深め、興味関心を広 げる、余暇や就労に繋げるきっかけ作り	・公共交通機関を活用した外出体験を増やす (乗車券、ICカードの使用方法を学ぶようにする) ・子どもたちと相談しながら、一緒に外出先を決める(話 し合う)場を持つ ・卒業後の進路(就労)のイメージが持てるような場所へ の見学や体験の機会を作る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別課題の強化、内容の充実化	・個々に合わせた個別課題の作成、提供が出来ていない ・個別課題を定着化できていないので、手持無沙汰な時間が 生じている	・個々に合わせた個別課題の作成を強化し、楽しみながら スキルを向上させる(学べる)工夫をしていく
2	家族支援(ペアレントトレーニングなど)	・コロナ禍以降、ファミリー向けの行事やイベントが実施で きていない(保護者同士の交流の場が設けられていない) ・保護者様対象のセミナー(ペアレントトレーニング等)を 事業所内で開催できていない	・ファミリーで参加出来るイベントや、保護者様同士が繋 がれる場所(空間)を提供していく また、定期的にセミナーを開催していく為、年間を通して 計画していく(検討していく)
3	移行支援(就労移行、地域や多職種との連携など)	・卒業後の生活(就労)に向けた支援、取り組みの定着化 ・多職種連携について、限定的な関わりしか持つ機会がない ので、学校(教職員)や各関係機関との連携が取りにくい (関係性を広げにくい)	・利用児童が卒業後に利用できる施設(就労施設、入所施 設など)を当社での起業、運営を目指す ・地域のイベントに参加したり、地域の公共施設を積極的 に利用する等、地域や多職種との関わり(繋がり)を広 げ、連携を図っていく

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 児童デイサービス のぞみ上甲子園

公表日 2026年 2月 10日

	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・日頃から部屋のレイアウトを工夫し、スペース確保や適切な環境づくりに努めている ・空間の見通しを良くしたり、広く使えるように工夫している ・限られた環境の中で勉強、休憩、個別のスペース等、すみ分けをしている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基準の人員配置を守り、安全面に配慮して支援している	・個別対応が必要な児童が多い日などには、まだまだ人員が必要だなと感じる場面がある
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・行動の手順書や動きの動線を考えた物の配置と環境設定をしている ・壁面など利用し、情報を伝えている ・基本的な動線は階段であるが、EVもある	・トイレの入り口、トイレの中が狭く、身動きが取りづらい ・基本的には環境が整っていると感じるが、階段を要する時の安全性は気になる
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・掃除や消毒は毎日行い、清潔な状態で過ごせるようにしている ・業務後プレイルーム、トイレ、階段など手すりや机、椅子など備品を含めての清掃、消毒や、次亜塩素酸の消毒液を噴霧し、空間除菌を行っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・クールダウンのための部屋（テント）を設置している ・落ち着くため、切り替えのため等、必要に応じて個室の利用ができるようにしている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・計画に沿った支援を行い、振り返りも行っている ・スタッフ同士で話し合い現状を理解するようにしている	・日々の業務に追われ、毎回の振り返りは実施できていない
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・例年通り、年に1回で実施して業務改善に努めている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・日常的に話す機会がある ・積極的にMTGを行い、情報共有したり意見を聞き合うようにしている ・必要に応じて面談の時間を設けている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・市内他事業所との相互評価を行っている ・定期的に視察がある	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・資格取得に向けた研修受講の機会がある	・研修は必要に応じて行っている状況なので、定期的で開催していくことが今後の課題である ・パートスタッフにも研修の機会、情報収集（資料を読む等）の機会が必要
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・職員間で話し合いを重ねながら、支援プログラムを作成、公表済み	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・保護者への聞き取りに加え、日頃の児童の様子や行動を基づいて作成している ・定期的にあセスメントを行い、保護者からのニーズを聞いた上で作成している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・サービス担当者会議を開催、実施する中で本人理解を深めたり、支援の方向性を合わせている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画書の更新時だけでなく、日々の中で支援計画書を見る機会、計画書に沿った支援を意識している ・書面、口頭の両方で常に共有されている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・標準化されたアセスメントシートを契約時に活用している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・放課後デイサービスガイドラインに沿った、目標設定や支援計画書の作成を意識している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・当日のリーダーを中心に相談して決めている ・スタッフ同士で話し合いをして計画を立てている	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・固定化しないように内容を変え、活動の場も広げている ・活動が疲れないようにしたり、利用者に寄り添った無理のないプログラムを組んでいる ・バリエーションを増やすよう工夫している 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子、状況に合わせて作成している ・子どもの特性や状況に応じて取り組めるよう、適切に行っている ・子どもの力を伸ばせるよう工夫している 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、子どもたちの利用前にスタッフ間で打ち合わせの時間を取り、情報共有している ・当日のリーダーが中心となりMTGを行い、役割分担を決めて支援を行っている 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・その日の様子や状況などの共有は毎日している ・必要に応じて振り返りを行い、気づいた点を共有し次の支援に生かしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りが次に活かせるようにしているが、毎日実施出来ていない ・個々には報告し合い、その後の共有も出来ていると思うが、全員での振り返りの時間も持てれば良いと思う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、支援終了後にデータ入力して記録している ・記録は毎日つけている 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子や支援計画書の目標を振り返り、個別の記録を残しているが、記録の取り方はスタッフによって差が出ているので、統一していく必要がある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回のペースでモニタリングを行い、支援計画書の見直しを行っている 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に応じた支援を意識している 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・のぞみ上甲子園での様々な活動を通して、自己選択や自己決定の機会を増やせるよう意識している ・指導員が手を出さず、本人の力を伸ばせるようにしている ・日々のおやつは決まった金額内で自分で選べるようにしている 	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・会議には管理者が参加しているが、事前に他スタッフから情報収集している ・子どもの状況をよく理解している者が会議に参加している 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて各関係機関との連携を図っている 	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・学校への迎え時には必ず、担任教師より申し送りや情報共有を行っている ・行事に合わせて利用時間を変更したり、トラブルにも対応している 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に学校での様子を聞き、把握に努めているが、担任教師と会わない学校もあり、密な情報共有が出来ていない
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に引き継ぎ会議を実施し、情報共有している 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業前の支援会議で引き継ぎと情報共有をしている ・必要に応じて情報を提供し、協力するようになっている 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ、多くの研修に参加出来るように調整している 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な交流の場（機会）は設けられていないので、地域イベント等へ活発に参加する等を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・西宮市児童通所支援連絡会に参加し、情報提供や共有をしている 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・HUGでのサービス提供記録、毎日の送迎時、電話において様子を具体的に伝えている ・送迎時に保護者と直接お会いし、会話を通して共通理解の機会としている 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修をHUGやライン等で告知（案内）している 	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約時に必ず説明している 		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・面談や電話懇談を通して、ご家族や本人の意向の聞き取り、確認を行っている ・保護者に聞き取りを行い、極力本人の意思を汲み取るようにしている 		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・支援計画書の更新時や計画書作成時に必ず支援内容の説明を行い、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・アセスメント（面談）の際に悩みや相談の聞き取りをしている ・相談等があった場合は、親身に向き合い応えている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・コロナ前までは保護者同士の交流の場作りを行っていたが、その後再開できていない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・迅速な対応を心掛け、丁寧に情報（事実）を伝えている ・苦情以外にも保護者からの要望などがあった場合、迅速に対応出来るようスタッフ間で情報共有を徹底している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・Instagramを活用して日々の様子や取り組み、イベント活動の様子を発信している ・定期的にSNSで発信し、活動の報告はLINE等を使い行っている ・HP、SNSで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報は鍵付き書庫で管理しており、破棄する場合はシュレッダーにかけている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・選択カード等を使用して意思疎通を図っている ・個々の利用者の状態に応じて支援している（絵カード等）	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・コロナ前までは近隣の方を招待したりイベント事を行っていたが、今は実施していない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルの作成と事務所内での掲示を行い、訓練も実施している	・防犯対策、マニュアルの作成を検討している
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年間でスケジュールを組み、年1回以上の訓練を実施している ・定期的な設備点検を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・保護者の方と事前に情報共有したり、服薬時の注意事項などを確認し、職員間でも共有を行っている ・日々、服薬が必要な児童の確認を行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示書が出ている児童はいないが、食物アレルギーに対しては保護者と情報共有して対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・年間でスケジュールを組み、安全点検を定期的に実施している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・ご家族との連携が図られるよう、周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットの内容を会議等で共有している ・報告書を作成した後は、スタッフ間で情報共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年間でスケジュールを組み、年2回以上の虐待防止研修に参加している ・年2回以上、全スタッフ対象の虐待防止研修を行い、考えの共有等を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・現在、身体拘束が必要な児童の在籍なし		

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年02月10日

事業所名：放課後等デイサービス 児童デイサービスのぞみ上甲子園

対象人数（保護者）37人 回答者数 27人 回収 73%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21		4		2	・ 備品等の配置や移動時の導線にも配慮するとともに、閉鎖的で窮屈な空間とならないよう工夫しながら、安全で楽しく活動できる環境作りを目指します。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19		3		5 ・ 利用日に職員の方が何名いらっしゃるかは確認できないのでわかりかねますが、今まで問題があった事はありません。 ・ 十分とは思いますが、お休みなど適切に取れているのかわかりません。 ・ 職員さんが何人いるのかわかりません。	・ 送迎時を通じて、色んな職員（パート）が保護者様と顔を合わせたり、コミュニケーションを取れるようにします。 ・ 新年度や職員の入れ替わりが生じた際には、職員一覧（紹介プリント）を作成する等、お知らせ（共有）方法についても検討していきます。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24		2		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22		5				・ 毎日の清掃と空間消毒を欠かさず徹底していきます。 ・ プレイルーム、休憩（学習）スペースとの棲み分けを行う等、工夫していきます。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25		2			・ 職員（パート）の専門的知識の向上はもちろん、支援の質を高められるよう努めていきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22		4		1	・ 支援プログラムに基づいた支援提供に努めていきます。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25		2		・ 毎回とても丁寧で作成して頂いています。	・ 保護者様とのアセスメント（面談）を通じて、日頃の様子はもちろん、課題の整理や将来を見据えた目標設定を心掛けていきます。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25		2				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26		1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24		2		1	・ 複数の職員（パート）同士で話し合いを重ね、活動内容やスケジュールが偏らないよう配慮していきます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7		6	5	9	・ あまり必要性を感じないので、なくて構いません。 ・ 必要に応じて地域のイベントへ参加し、地域住民や他児との繋がり（関係性）が広がるようにしていきます。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25		2			・ 引き続き、利用契約時に十分な説明時間を確保します。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26		1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17		3	3	4	・ 情報収集を行いながら、定期的な研修実施に向けた年間スケジュールが組めるよう検討します。 また、他事業所や外部講師との繋がりを広げ、連携を回していきます。	

	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	5			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2	1	2	・十分なお時間を取って頂きしっかりと話をすることが出来ていきます。 ・定期的に保護者様とのコミュニケーションを取りながら、一緒に子どもたちの成長を見守っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	3		1	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	6	11	4	6	・以前はBBQや餅つきなど家族で参加出来るイベントが年に数回ありましたが、コロナ禍からあまり交流する機会がなくなってしまって残念に思っています。 ・ファミリーで参加出来るイベントや、保護者様同士が繋がる場所（空間）等が提供できるよう検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	3	1	3	・困っていること等を相談するとすぐに対応策を提案して頂きとても助かっています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	1			・日々の活動報告はもちろん、活動写真の送付を活発に行います。 またSNS（Instagram等）を通して、日常の様子や様々な情報を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	2			・個人ファイル等の管理は、鍵付き書庫での保管を引き続き徹底します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	2		2	・防犯対策、マニュアルの作成を検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	3		4	・年間でスケジュールを組み、年2回以上の訓練を引き続き実施します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	2		2	・特に外出を伴う活動においては、引率の職員（パート）の人数を多く配置したり、必ずグループ分け（ヘアリング）を行う等で、見守りを強化していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3		3	・事故（怪我等）発生時は、状況の確認が完了次第、速やかな保護者様への連絡（説明）を徹底します。 また、各報告書（事故・ヒヤリット）を記入し、全従業員への周知と再発防止に努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	2			・子どもたちが安全に過ごせるよう、危機管理（リスクマネジメント）の徹底に努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	5		1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	2			・いつもありがとうございます。感謝しています。 ・いつも温かく受け入れてくださりありがとうございます。 ・お出かけやイベントなど、楽しい計画を立てていただき感謝しています。 ・いつも喜んで通所しています。これからもよろしくお願ひします。 ・今後も職員（パート）一丸となり、日々の支援（療育）の質を高めること、活動の幅を広げることを心掛け、より良い施設運営に努めていきます。